



## 岐阜県鉱工業指数(平成22年5月分)

生産指数 前月比 5.4%の低下

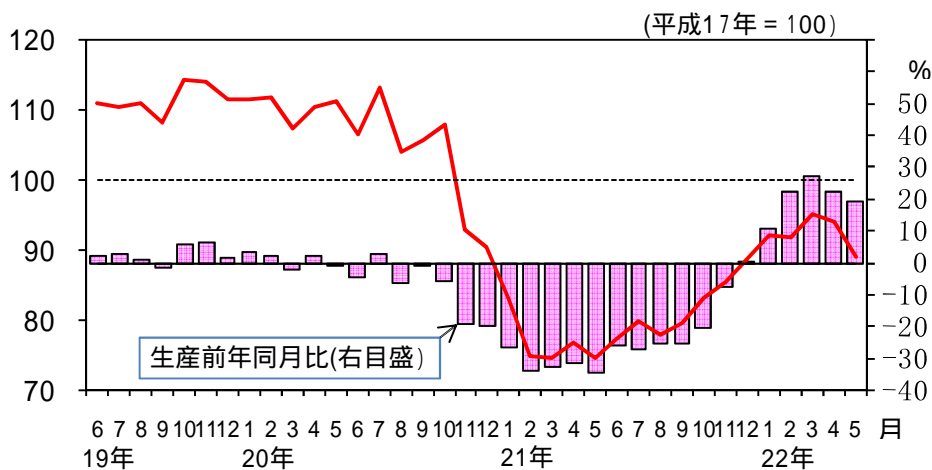
### 1 概況

平成22年5月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数で見ると、情報通信機械工業、電気機械工業等が上昇したものの、輸送機械工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は5.4%減と前月に引き続き低下した。また、出荷指数は7.3%減と前月に引き続きに低下し、在庫指数は0.6%増と上昇に転じた。なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は19.5%増となり、6カ月連続で前年を上回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
	前月比(%)		前年同月比(%)	
生産	89.0	5.4	84.0	19.5
出荷	89.2	7.3	83.9	20.9
在庫	109.5	0.6	108.4	0.6

鉱工業指数(生産)推移



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰返される変動を取り除いて指数化したもの。  
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

## 2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、橋りょう、鉄骨等が増加したものの、ボルト・ナット、軽金属板製品（産業用品）等が減少したため、6.5%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は7.5%減、在庫は14.3%減と、ともに前月に引き続き低下した。

機械工業の生産は、携帯電話、旋盤等が増加したものの、乗用車ボデー、研削盤等が減少したため、3.1%減と12カ月ぶりに低下した。また、出荷は6.9%減と前月に引き続き低下し、在庫は11.7%増と3カ月連続で上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、研削砥石等が増加したものの、陶磁器製台所用食卓用品、気泡コンクリート製品等が減少したため、1.4%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷は9.1%減と前月に引き続き低下し、在庫は0.8%増と3カ月ぶりに上昇した。

化学工業の生産は、無水酢酸、メラミン樹脂等が増加したものの、触媒（自動車排気ガス浄化用）等が減少したため、9.2%減と低下に転じた。また、出荷も14.7%減と低下に転じ、在庫は5.3%増と増加に転じた。

プラスチック製品工業の生産は、パイプ、プラスチック製継手等が増加したものの、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器等が減少したため、6.9%減と4カ月連続で低下した。また、出荷は6.0%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は0.7%減と前月に引き続き低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	87.2	6.5	6.0	87.6	7.5	5.7	78.1	14.3	2.1
機械工業	91.6	3.1	43.4	90.7	6.9	38.7	138.9	11.7	3.6
一般機械工業	77.6	7.0	71.4	90.7	14.0	77.3	-	-	-
電子部品・デバイス工業	96.4	3.2	23.8	98.6	3.1	24.2	-	-	-
輸送機械工業	102.6	11.5	35.7	96.6	10.2	37.7	-	-	-
窯業・土石製品工業	71.8	1.4	15.9	67.6	9.1	2.2	79.5	0.8	12.8
化学工業	118.0	9.2	2.3	108.9	14.7	1.5	103.3	5.3	2.6
プラスチック製品工業	96.0	6.9	7.6	102.6	6.0	7.4	83.2	0.7	2.8

前年同月比は原指数による

(注)化学工業のうち医薬品の前月値については、平成22年2月並に仮置きしたまま遡及改定していない

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

